【授業科目】看護理論　Nursing Theory

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
後藤 由紀、草野 純子、別所 史子	１年次 前　期	必　修	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	卓越した看護実践には、理論に裏付けられた現象の捉え方や判断基準、対象との関係の持ち方が不可欠である。そのために、基礎となる看護における諸理論や看護に関する諸理論と看護現象との関係について理解を深めるために必要な知識を教授する。特に、理論あるいは看護理論とは何であるのか、看護理論はどのように開発されてきたのか、理論開発の背景や源泉、概要を明確にしながら、clarity（明確性）consistency（一貫性）simplicity（平易性）usefulness（有用性） generality（一般性）などの視点から理解を深める。 プレゼンテーションは、看護の理論的アプロ-チは、専門職としての看護活動を特徴付けているのか、という課題意識を持ちながら内容を深める。授業は実務家教員（後藤、草野、別所）が進める。病院、地域での臨地経験を持つ教員が、大学院生として看護理論を基盤に実践活動を行う上で必要な知識・考え方について講義およびワークによって教授する。課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／レポート、プレゼンテーションについて、全体に講評を返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①、②、③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①高度看護実践者として看護実践・教育・研究の基盤となる看護理論の歴史的社会的発展過程と役割、意義を説明できる。 ②看護学の視座から批判的に分析する過程で、異文化の基で開発された理論を日本に適用する上での課題について考察できる。 ③看護行為の選択に看護理論がどのように関与しているか、現実に活用している看護実践モデルの有効性について分析・考察を行い、その過程において、看護理論が看護実践の場からどのように開発されてきたかについても探求できる。
時間外学習に必要な 内容・時間	指定教科書は事前に読み、授業に臨むこと（30 分）毎回配布される資料及び、紹介された参考文献は、読んでおき、次回の講義やプレゼンテーションの準備に生かすこと（60 分） 各自が選んだ理論家に関する文献を読み込み、プレゼンテーションに臨むこと（120 分） 授業終了後プレゼンテーションでの学びを、指定された項目にそってレポートとしてまとめる（60 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回)（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	＜ 看護論・看護理論の基礎的理解＞ 1. 看護理論：看護学の発展と科学的思考の基礎 2. 看護理論の歴史的発展と看護実践の質的向上 3. 看護理論の評価と理論開発 ＜プレゼンテーション・討議＞ 開発された看護論・看護理論の有用性に関する検討：明確性・一貫性・平易性・有用性・一般性の視点から検討する。異文化の中で開発された理論を日本で適用できるかについての論議も含む。 4. フローレンス・ナイチンゲール、創まりの看護理論 5. マドレンM. レイニンガーの文化的ケア、多様性と普遍性理論 6. J. トラベルビーの人間対人間の関係 7. シスター・カリスタ・ロイの適応看護モデル 8. ノラ. J. ペンダーのヘルスプロモーション 9. マールH・ミシェルの不確かさ理論 ＜理論の応用＞ 10. ～15. 各専門領域への看護理論の応用 各自、看護理論家の理論の概要と分析結果・実践への応用を発表する。ディスカッションを通して、理解を深める。	後藤 後藤 後藤 草野 後藤 草野 別所 後藤 別所 10～15 全員
評価方法 評価基準	参加状況 30%、プレゼンテーション 40%（事前に準備し配布すること）、課題レポート 30%

教科書	・筒井真優美編集 (2020). 看護理論家の業績と理論評価 第２版. 医学書院. ・その他：各理論家が独自に出版された著書については、講義中に紹介する。 (理論家の原著も併せて購読すること)	参考書等	・J. fawcett著 太田喜久子・筒井真優美監訳, 看護理論の分析と評価新訂版, 医学書院, 2008 ・M. R. Alligood, Nursing Theorists and Their Work, 10th ed, Elsevier, 2022 ・A. M. Tomey, M. R. Alligood著 都留伸子監訳, 看護理論家とその業績第３版, 医学書院, 2005. ・O. L. Walker, K. C. Avant著 中木高夫・川崎修一監訳, 看護における理論構築の方法, 医学 書 院 , 2008 ・B.L. Rodgers, K.A.Knafl 著 近藤麻理・片田範子監訳,看護における概念開発 基礎・方法・応用,医学書院,2023